

令和6年度

助任小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的な学びにつながる、単元構想や授業の導入・展開の工夫
- 伝え合い、学びを深めることができる授業の実践

【各校の取組状況の把握について】

学期に1回程度実施予定の学力向上検討委員会と各学年の授業研究会を通して、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習について、基礎的・基本的事項についての力が身に付き、学力的に高い傾向の児童が多い。 ●学力の二極化傾向が見られ、計算や漢字などの基礎的・基本的事項が十分に身に付いていない児童が一定数いる。	・学びを深める場面で活用できる知識・技能を十分に身に付けている。	・授業展開を学校全体で共有し、子どもが安心して学習に取り組める環境を整える。 ・ICT機器を活用し、学校や家庭における学習習慣の定着を図る。そのために、ICT機器の活用方法について校内で共有する。	・授業展開の再確認をし、子どもが学習に集中できる環境を整備する。 ・自由公開授業などを活用し、ICT機器の活用方法や指導方法について共有する。	・全国学力テストでは、国語・算数ともに全国平均を上回るなど、知識・技能習得における取組の成果が出てきている。自由公開授業では、ICT機器や思考ツールを使った実践が見られ、学習指導の幅を広げることができた。	・身に付けた知識・技能を活用したり自分で選択したりする機会を設けることで、より深い学びにつなげたい。自由公開授業の回数を増やし、参観する教員を増やすことで、指導力向上につなげていきたい。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○目的に応じて自分の考えを持ち、表現することのできる児童が多い。 ●自他の考えを比べて、自分の考えを広げたり深めたりすることのできる児童が少ない。	・根拠を明らかにしながら自分の考えを発言したり、友達の考えと自分の考えを比べながら聞いたりしながら、自他の考えを伝え合うことができる。	・ペア、グループ及び全体といった学習形態を工夫して、自分の考えを説明したり友達の意見を聞いたりすることのできる場と時間を保障する。	・学習指導部の教員を中心に、話し合う活動の形態や授業展開について共有し、各学年で聞く力を育てる活動に取り組む。	・根拠を明らかにしながら自分の考えを伝え合う活動を重ねることで、自他の考えを聞き比べながら考えを伝え合う態勢が整ってきた。一方で、考えを伝えることが苦手な児童も多い。	・発表が苦手な児童が自分の考えを伝えられるように、図や表、グラフを使った説明や児童のつぶやきも大切に、児童の意識がよりつながるようにしたい。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○多くの児童が、意欲的に学習に取り組んだり、課題を最後までやり遂げたりすることができる。 ●学習に対して参加しづらい様子や自信のない様子が一部児童に見られる。	・自分で課題を見つけ、楽しみながら学習に取り組むことができる。 ・既習事項を活用したり、新しい方法を見出したりしながら、意欲的に問題解決ができる。 ・家庭学習の手引きを利用し、課題意識をもって家庭学習に取り組む。	・課題を明確にもてる授業構成を考え、ICT機器を活用して多様な学び方を展開する。 ・児童の疑問を大切にしながらめあてを設定したり、振り返りで個々の成長に気付かせたりする。 ・家庭学習の手引きを周知し、子どもの学習習慣を確立させる。	・効果的なICT機器の活用方法について研修を深める。 ・振り返り活動の際、書き出しの例などを提示し、学習の内容と方法の両面から自己の学びを見つめ直すことができるようにする。	・学習の振り返りに取り組む場と時間を保障することで、児童の思考がつながり、学習内容を深く理解することができた。ICTを使って児童の思考をつなぐ活動にも取り組み、効果的にICTを使用することができた。学習活動と振り返りの時間のバランスを取ることが課題である。	・振り返り活動を行うことで、児童が自分自身の課題を把握し、深い学びにつなげたい。振り返り活動では、振り返りの方法を提示する、考えが深まっている児童を例示するなどし、より児童が主体的に表現する力を高める方策を工夫していきたい。

令和6年度 学力向上ロードマップ

